

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 南米のアンデス地方では、寒冷な気候に適応した生活文化が発達しています。この地域の伝統的な食文化と、民族衣装である「ポンチョ」の形状について説明したものの組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2021年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1. ジャガイモを主食とし、一枚の布の中央に穴をあけて頭を通す形状 | 2. 小麦を主食とし、長い布を体に幾重にも巻きつける形状 | 3. とうもろこしを主食とし、動物の毛皮を縫い合わせたコートのような形状 | 4. 米を主食とし、絹の布を複雑に裁断して縫製した形状 |
|-----------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|

問2 世界を6つの大きな州に区分したとき、南半球に位置する広大な大陸であるオーストラリアと、その周辺にあるニュージーランドや太平洋の島々から構成される州の名称を選びなさい。（2026年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|---------|----------|-----------|
| 1. オセアニア州 | 2. アジア州 | 3. アフリカ州 | 4. 南アメリカ州 |
|-----------|---------|----------|-----------|

問3 太平洋を取り巻くように分布し、火山活動が盛んで険しい地形が続く造山帯を何といいますか。南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈も、この造山帯の一部に含まれます。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|-----------------|---------|----------|
| 1. 環太平洋造山帯 | 2. アルプス・ヒマラヤ造山帯 | 3. 安定陸塊 | 4. 古期造山帯 |
|------------|-----------------|---------|----------|

問4 南半球に位置するオーストラリア東岸の都市と、北半球にある日本（東京）の気候を比較したとき、オーストラリア東岸の都市で見られる特徴的な現象として正しいものはどれですか。（2016年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 1. 日本の夏休みにあたる8月ごろに、月平均気温がその年で最も低くなる。 | 2. 一年のうちで最も気温が高くなる時期に、降水量がほとんどなくなる乾季を迎える。 | 3. 一年を通じて気温の変化がほとんどなく、毎月200ミリメートル以上の激しい雨が降る。 | 4. 北半球の冬至にあたる12月ごろに、一年の中で最も気温が低くなり、降雪が見られる。 |
|--------------------------------------|---|--|---|

問5 南アメリカ大陸の国々の多くは、かつてスペインの植民地であった歴史からスペイン語を公用語としていますが、ブラジルは異なる歴史的背景を持っています。ブラジルの歴史と、現在の産業や自然環境について述べた文として、正しいものはどれですか。（2018年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. かつてポルトガルの植民地であったためポルトガル語を公用語としており、アマゾン川流域に広大な熱帯林を有している。 | 2. かつてイギリスの植民地であったため英語を公用語としており、アンデス山脈の標高の高い地域でアルパカを飼育している。 | 3. かつてフランスの植民地であったためフランス語を公用語としており、パンパと呼ばれる広大な草原で小麦を栽培している。 | 4. かつてオランダの植民地であったためオランダ語を公用語としており、コーヒーの生産量は世界で最も少ない。 |
|--|---|---|---|

問6 世界を6つの州に区分したとき、南半球に位置するオーストラリア大陸と、ニュージーランド、および太平洋の島々を合わせた地域の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|-----------|----------|
| 1. オセアニア | 2. アジア州 | 3. 北アメリカ州 | 4. アフリカ州 |
|----------|---------|-----------|----------|

問7 オーストラリアの貿易構造が変化した背景とその現状について述べた文として、正しいものを選択してください。（2021年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. アジア諸国の工業化に伴い、鉄鉱石や石炭などの天然資源の需要が高まったため、それらを豊富に産出するオーストラリアの貿易相手はアジア諸国へとシフトした。 | 2. イギリスがヨーロッパ連合（EU）の前身に加盟したことをきっかけに、オーストラリアは農産物の輸出先をアメリカから東南アジアへと全面的に切り替えた。 | 3. 国内の工業化が急速に進んだ結果、オーストラリアは鉄鉱石などの原材料を輸入し、工業製品をイギリスや中国へ輸出する加工貿易の国へと変化した。 | 4. 地球温暖化の影響で小麦の生産が困難になったため、主な輸出品目を農産物からレアメタルなどの天然資源に切り替え、貿易相手国をアフリカ諸国へと拡大した。 |
|---|---|---|--|

問8 地球温暖化対策の観点から、ブラジルなどでバイオ燃料の利用が推進されている理由として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 植物は成長過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に二酸化炭素を排出しても大気中の総量に影響を与えないという考え方があるため。 | 2. バイオ燃料は石油などの化石燃料に比べて燃焼効率が極めて高く、二酸化炭素を全く排出せずに自動車を走行させることが可能であるため。 | 3. さとうきびやとうもろこしを燃料として利用することで、大気中の窒素を酸素に変換し、オゾン層を保護する効果が得られるため。 | 4. バイオ燃料の原料となる植物の栽培は、熱帯雨林の開墾を抑制し、野生動物の保護に直接的に寄与する仕組みとなっているため。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 じゃがいもを主食とし、一枚の布の中央に穴をあけて頭を通す形状	アンデス高地はじゃがいもの原産地であり、現在も重要な主食となっています。ポンチョは、寒冷的な環境で体温を逃がさないようにしつつ、作業時には動きやすいよう、中央に穴をあけて頭を通すだけのシンプルな構造をしています。
問2	答え 1 オセアニア州	世界を大陸や文化圏ごとに分けた6つの州（六大州）のうち、オーストラリア大陸とその周辺の島々を含む地域はオセアニア州と定義されます。他の州と比較して、広大な海洋に多くの島々が点在していることが特徴です。
問3	答え 1 環太平洋造山帯	太平洋の周囲を囲むように位置するこの造山帯は、プレートの運動によって現在も地殻変動が活発に続いています。そのため、地震が多く、火山活動が盛んであるという特徴があります。南アメリカ大陸の西縁を南北に走るアンデス山脈は、この造山帯を代表する高く険しい地形の一つです。
問4	答え 1 日本の夏休みにあたる8月ごろに、月平均気温がその年で最も低くなる。	南半球の季節は北半球と逆転するため、日本が夏（7月～8月）の時期、オーストラリアは冬を迎えます。そのため、統計上でも7月から8月にかけて気温のグラフが最も低くなります。また、オーストラリア東岸部は年間を通じて100ミリメートル以上の安定した降水量があるため、「気温が高い時期に乾燥する（地中海性気候）」や「極端な乾季がある（サバナ気候）」といった特徴は当てはまりません。
問5	答え 1 かつてポルトガルの植民地であったためポルトガル語を公用語としており、アマゾン川流域に広大な熱帯林を有している。	南アメリカ大陸において、ブラジルは1494年のトルデシヤス条約などに基つきポルトガルの植民地となったため、周囲のスペイン語圏の国々と異なりポルトガル語が公用語となりました。地理的には、世界最大の流域面積を誇るアマゾン川が流れ、世界最大の熱帯林（セルバ）が広がっていることが大きな特徴です。近年では自動車産業などの工業化も目覚ましく進展しています。
問6	答え 1 オセアニア	地球上の陸地を大きなまとまりで分けた「州」の一つです。オーストラリア大陸を中心として、メラネシア、ミクロネシア、ポリネシアといった太平洋の島々が含まれます。日本と同じ東経135度の経線が通る地域もあり、経度的には近い位置にありますが、赤道を越えた南側に位置していることが地理的な特徴です。
問7	答え 1 アジア諸国の工業化に伴い、鉄鉱石や石炭などの天然資源の需要が高まったため、それらを豊富に産出するオーストラリアの貿易相手はアジア諸国へとシフトした。	1960年代以降、日本や中国といったアジア諸国が高度経済成長や工業化を遂げる中で、製鉄に必要な鉄鉱石やエネルギー資源である石炭の需要が急増しました。広大な国土にこれらの資源を豊富に持つオーストラリアは、地理的に近いアジア諸国への輸出を拡大させ、貿易構造を劇的に変化させました。これに並行して、白豪主義から多文化主義へと社会方針を転換し、アジア太平洋経済協力会議（APEC）の設立を提唱するなど、アジアとの結びつきを深めてきました。
問8	答え 1 植物は成長過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に二酸化炭素を排出しても大気中の総量に影響を与えないという考え方があるため。	植物を原料とするバイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素は植物が成長する際の光合成によって吸収されたものです。このため、理論上は大気中の二酸化炭素を増やさないのみならず「カーボンニュートラル」という考え方が、導入を後押しする大きな背景となっています。ただし、近年の農地拡大による森林伐採が、かえって環境破壊につながるという課題も指摘されています。